2020 年度 アンケート調査レポート

ひばりが丘エリアマネジメントの現状・課題・可能性

2021 年 5 月

一般社団法人 まちにわ ひばりが丘

協力：東京工芸大学 森田芳朗、横浜国立大学大学院 江口亨

2020 年度 アンケート調査レポート

ひばりが丘エリアマネジメントの現状・課題・可能性

0. アンケートの方法と回答者の概要 p.3

0-1. アンケートの方法

0-2. 回答者の概要

1. ひばりが丘での暮らしと地域のつながり p.5

1-1. 暮らしのなかでの関心ごと

1-2. 地域のつながり

1-3. コロナの影響

2. まちにわ ひばりが丘の活動 p.7

2-1. まちにわの活動との関わり

2-2. ひばりテラスの利用状況

2-3. 住まいの選択に与えたエリアマネジメントの影響

2-4. まちにわの事業や活動への意見・感想

3. 管理組合とまちにわの連携 p.11

3-1. 連携への認識

3-2. 連携への意見・感想

4. テレワークの実施状況とワークスペースへのニーズ p.13

4-1. テレワークの実施状況

4-2. ワークスペースへのニーズ

5. ひばりが丘のまちづくりへの意見やアイデア p.15

6. まとめ p.16

0. アンケートの方法と回答者の概要

「まちにわ ひばりが丘」(以下「まちにわ」)の活動が地域の方々にどう受け止められ、どんな効果を生んでいるのか、また、課題は何かを明らかにするために、2015 年度からアンケート調査を実施しています。このレポートでは、2020 年度の調査結果を報告します。

アンケートでお聞きしたのは、①ひばりが丘での暮らしと地域のつながり、②まちにわの活動との関わり、③管理組合との連携についての認識、④コロナ下でのワークスペースへのニーズ、⑤まちづくり全般への意見やアイデア、の 5 つです。

0-1. アンケートの方法

アンケートの配布・回収状況は**表 0-1-1** の通りです。調査票は 2020 年 12 月に各戸のポストに投函し、管理事務室ポスト等で回収しました。Google フォームでも回答可能としたところ、記入用紙 180 件、Google フォーム 174 件、計 354 件の回答が得られました（回収率 32%)。

表 0-1-1. アンケートの配布数と回収数

街区	配布	回収	回収率
ひばりが丘フィールズ 1 番街	144	43	30%
ひばりが丘フィールズ 2 番街	156	36	23%
ひばりが丘フィールズけやき通り	119	42	35%
シティテラスひばりが丘	343	92	27%
プレミストひばりが丘	205	79	39%
プレミストひばりが丘シーズンビュー	74	22	30%
セキュレアガーデンひばりが丘	78	40	51%
全体	1,119	354	32%

図 0-1-1. ひばりが丘の各街区

0-2. 回答者の概要

まず、どんな方がアンケートに回答してくださったかを見てみます。

図 0-2-1～**図 0-2-3** に、回答者の性別、年齢、職業を示しました。新しく分譲された街区ほど、やはり若い世帯が多いようです。家族構成は、いずれの街区も「夫婦と未成年子」からなる子育て世帯が最も多く見られます（**図 0-2-4**)。

図 0-2-5 は、ひばりが丘(およそ同じ小学校区、中学校区）での居住年数です。「10 年超」など、再開発街区が分譲される以前からこのエリアにお住まいの方もおられます。

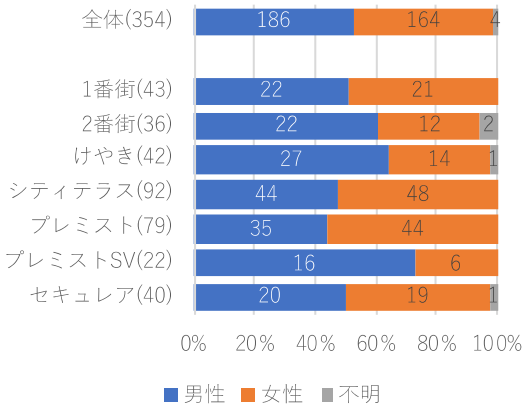

図 0-2-1. 性別

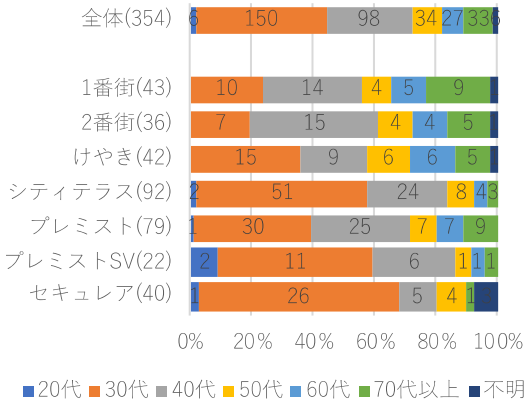

図 0-2-2. 年齢

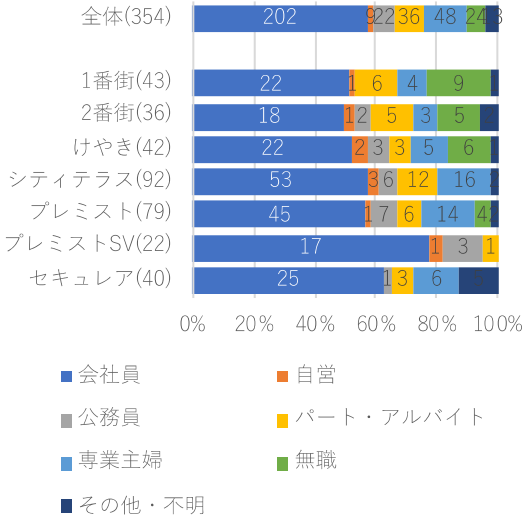

図 0-2-3. 職業

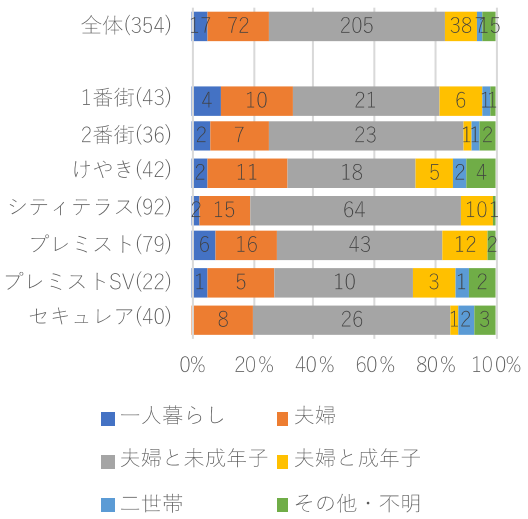

図 0-2-4. 家族構成

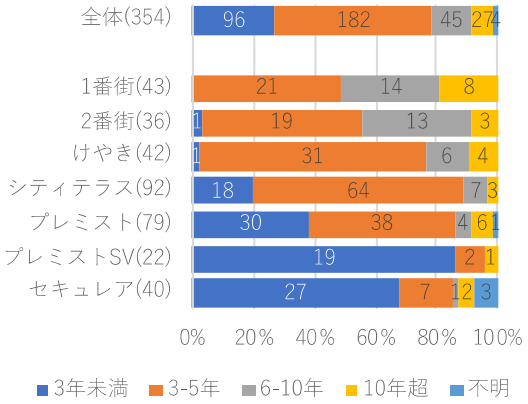

図 0-2-5. ひばりが丘での居住年数

1. ひばりが丘での暮らしと地域のつながり

ひばりが丘の方々は、暮らしにどんな関心や悩みを持ち、それをどれだけ周囲と共有しているのでしょうか。以下、①暮らしのなかでの関心ごと、②地域のつながり、③コロナの影響について見てみます。

1-1. 暮らしのなかでの関心ごと

図 1-1-1 は、いまの暮らしのなかでの最も大きな関心ごとをまとめたものです。最も多かったのは「子育て」で、「趣味」「コロナ対策」「健康」「住環境」「仕事」と続きます。

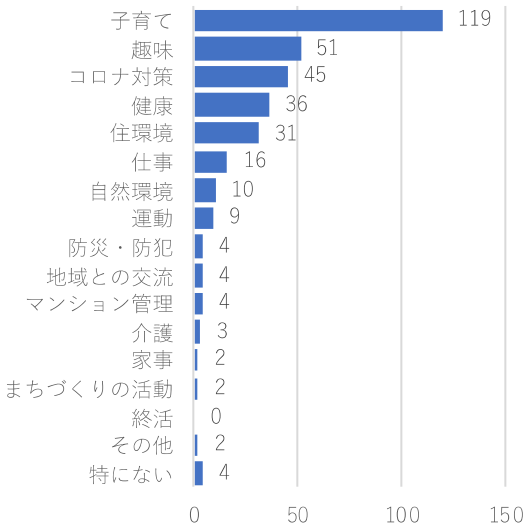

図 1-1-1. 暮らしのなかでの関心ごと

これらの関心ごとを近所や地域の友人・知人と話題にしたり相談したりしたいと思うかを尋ねたところ、**図 1-1-2** の結果が得られました。「子育て」や「住環境」は、積極的にまわりと共有したい関心ごとのようです。

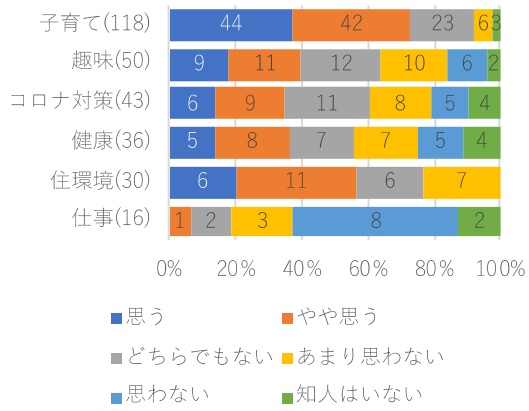

図 1-1-2. 関心ごとをまわりと共有したいか

1-2. 地域のつながり

図 1-2-1 と**図 1-2-2** は、現住居に入居する前に地域にいた知人と、入居後にできた知人です。

入居後に地域に知人ができた方の割合は、開発が早い街区ほど、また若い世代の方ほど多いようです（**図 1-2-3**、**図 1-2-4**）。新しい知人ができたきっかけ(上位３つまで選んでもらいました)は、「家が近所」が最も多く、「子供の学校等（子どもの保育園・幼稚園や学校)」「マンション等のイベント（マンション、住宅地内のイベント)」と続きます（**図 1-2-5**）。

地域でのイベント、サークル、情報発信などの活動に参加したいかを尋ねたところ、**図 1-2-6** の結果が得られました。年齢に関わらず、多くの方がこれらに「参加したい」と回答しています。

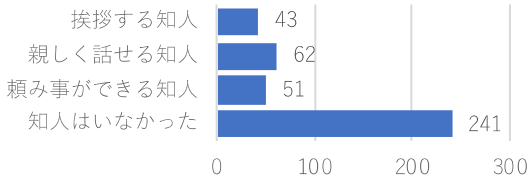

図 1-2-1. 入居前に地域にいた知人（複数回答）

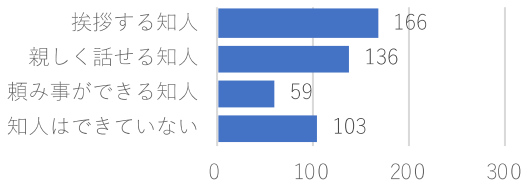

図 1-2-2. 入居後に地域にできた知人（複数回答）

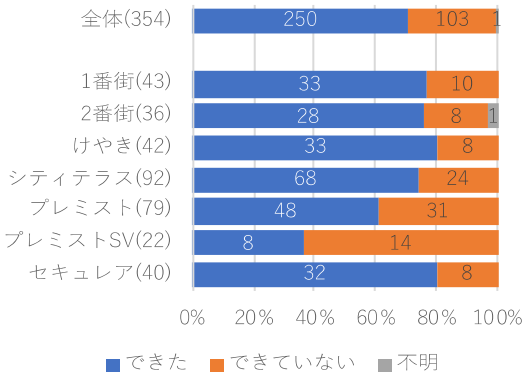

図 1-2-3. 街区と入居後にできた知人の有無

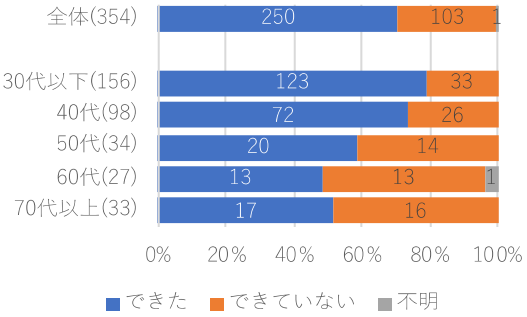

図 1-2-4. 年齢と入居後にできた知人の有無

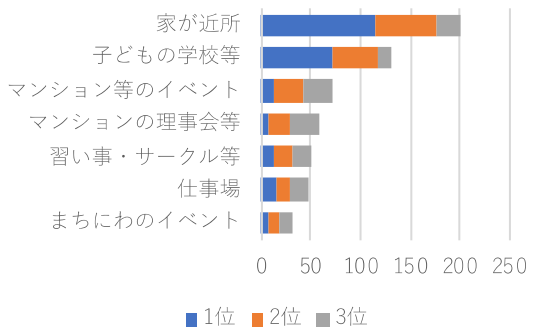

図 1-2-5. 新しい知人ができたきっかけ

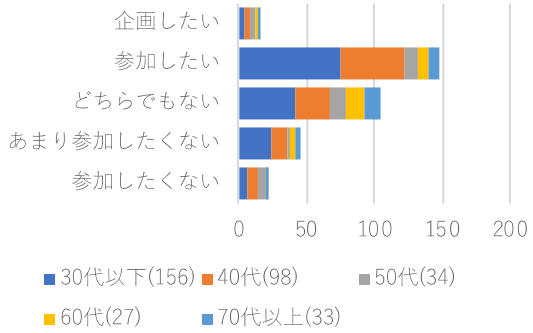

図 1-2-6. イベント等に参加したいか

1-3. コロナの影響

コロナの影響で困ったことを３位まで選んでいただきました（**図 1-3-1**）。３位までの合計数では「余暇の過ごし方」「買い物」「食事」が挙がりましたが、最も困ったこと（1 位）に限ると「育児」「子どもの居場所」の多さも目立ちます。

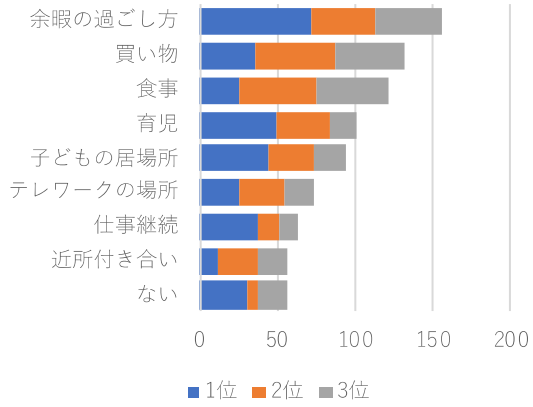

図 1-3-1 コロナの影響で困ったこと

2. まちにわ ひばりが丘の活動

まちにわが設けるつながりの場は、地域の方々にどう利用され、評価されているのでしょうか。①まちにわの活動と関わり、②ひばりテラス 118（以下「ひばりテラス」）の利用状況、③住まいの選択に与えたエリアマネジメントの影響、④まちにわの事業や活動への意見・感想を見てみます。

2-1. まちにわの活動との関わり

図 2-1-1 は、まちにわが主催する地域イベントやサークル（餅つき、ジョギング会、菜園、花火遊び、にわジャムなど）に参加したことがあるかを尋ねたものです。「よく参加する」「参加したことがある」を合わせた参加者は全回答者のおよそ半分を占めます。それらイベント等への評価は、よく参加するほど高くなる傾向があるようです。

図 2-1-2 には、まちにわが定期的に配信している各種の情報（ブログ、メルマガ、AERU、まちにわ通信など）が届いていると感じるかを示しました。こちらは「よく届いている」「まあまあ届いている」の合計が全体の 8 割を占めます。

これら「イベント等」「情報発信」の他、まちにわの「事業全般」「管理組合（団地管理組合を含む）との連携」、そして 2-2 で見るひばりテラスの「レンタルスペース（HINATA）」への評価をまとめたものが**図 2-1-2** です。まちにわによる「事業全般」「イベント等」「情報発信」「管理組合との連携」は、いずれもおよそ半数が「満足」または「やや満足」との評価を得ています。一方、「レンタルスペース」は、「どちらでもない」と評価を保留する方が全体の 3/4 を占めました。

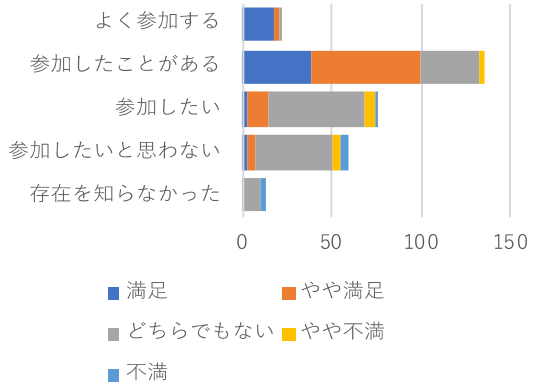

図 2-1-1. イベント等への参加状況と評価

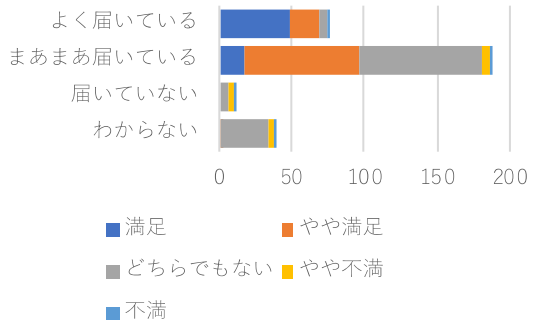

図 2-1-2. 情報の届き具合と評価

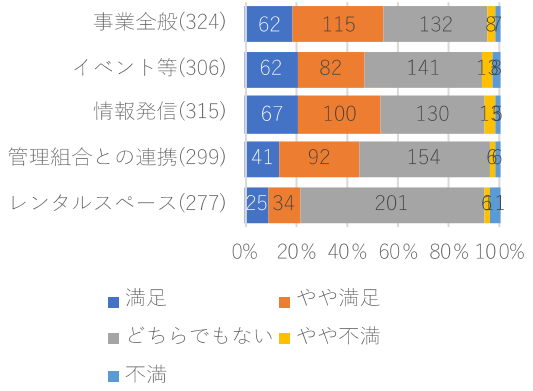

図 2-1-3. まちにわへの評価

2-2. ひばりテラスの利用状況

ひばりテラスにある施設のうち、最も利用率が高かったのは「カフェ（Comma,coffee)」で、「フラワーショップ（風葉花)」が続きます（**図 2-2-1**)。利用率が 2 割に届かなかった「レンタルスペース（HINATA)」や「ハンドメイド雑貨（HACO NIWA)」は、「存在を知らなかった」という方も多く見られます。

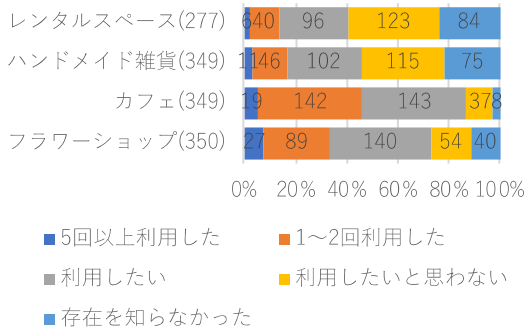

図 2-2-1. ひばりテラスの各施設の利用状況

2-3. 住まいの選択に与えたエリアマネジメントの影響

図 2-3-1 は、ひばりが丘でエリアマネジメントが進められていることが現住居を選ぶ際に影響したかを尋ねた結果です。「プラスに影響した」世帯は全体の 1/4 見られますが、状況は街区によっても異なるようです。

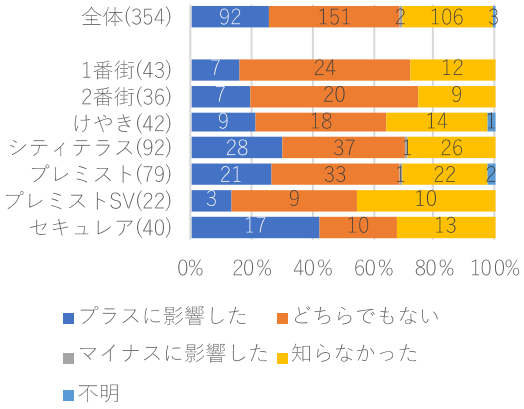

図 2-3-1. まちにわの存在が住居選択に影響したか

2-4. まちにわの事業や活動への意見・感想

表 2-4-1 は、地域の方々からいただいたまちにわの事業や活動に対する自由回答です。（一部抜粋）

表 2-4-1. まちにわの事業や活動に対する自由回答

- 楽器練習が出来る防音室が欲しい
- COMMA,COFFEE は立地が独占的なのに、料金が高すぎる（相場の 1.4~1.6 倍）と思います。
- 「まちおこし」の活動、いつもありがとうございます。コロナ禍でイベントに顔を出したり、飲食をするのは気後れしてしまいますが、企画が無くなってしまうのは勿体ないのでなんとか続けて行って欲しいです。
- 会報が急にチープ？になり、見づらくなってしまい残念

- 積極的に参加したことは有りませんが、活動は周辺環境に活気が出ると思いますので、良いと思います。
- イマイチ交流感がうすく、会費が活かせていない
- カフェと花屋さんだけでは住民が日常使いしづらいので、それとは別にハード系もある美味しいパン屋さん（近場だと Boulangerie SAWANO が良かった）やコーヒーショップ（自家焙煎で豆のまま販売してくれる。コンマコーヒーでは豆の販売をしていないようだった）があると日常的に利用できる。ビールのブルワリーもあると嬉しいし、地域の名物にできる
- つつじヶ丘の手紙舎本店がある団地の雰囲気や店舗がとても良かった。あちらも同じように団地内にあるスペースだが、日常使いもでき、リピートしたいと思えるクオリティだった。
- 今年はハロウィンが中止で残念でした。コロナが収束した際にはまた子供達が楽しめるイベントをもっと増やして頂けたらと思います。
- 今年は特にコロナの影響でレンタルスペースを含めて全体的に利用が必ずしも多くはないと思う。運営資金面で大丈夫なのか心配（資金不足などでなくなってほしくない）。
- 大変ありがたく思っております。
- いつも熱心に活動して下さりありがとうございます。
- コーヒー屋さん、いつも混んでいるので行きづらいです。利用しにくい。またどれがいくらで何があるのか表からわかりにくい（実際看板に書いてあったのに物がなかったこともありわかりにくい）
- 地域の交流が深まるようなイベントを開催してくださっていて、いつも楽しみにしております。
- コロナ禍でイベント等はなかなか難しいですがにわジャムのように続けて地域密着のお店が出てくれているのは有難いです
- 日頃より素敵なイベント等の企画～実施までしていただきありがとうございます。コンマコーヒーや風葉花含め、皆さんあたたかく接して下さるので安心して足を運ぶことが出来ています。今後はレンタルスペースを活用させていただきますね
- にわジャムについて… もう少し街全体で盛り上がっていたら楽しめるのではないか？と常々感じている。例えば、よくフェスにあるような「エリア」を分けることで（衣食住などテーマを決めて）、ひばりテラスだけでなく、プレミストのシェアスペースを使ったり、東久留の図書館前の広場を使ったりして盛り上がれるのではないかと思う。ただ規模も大きくなるので運営の負担ももちろんあり、簡単にはいかないのが難しいところだと思う。
- 紙、ダイレクトメールでのイベント告知は不要。
- 通信が文字が多くて読みにくくなったので見やすくして欲しい。
- 子供の花火については、どこに情報があったのか分かりませんでした。友人に教えてもらい、ステンドグラスの切り紙？に参加させてもらいました。自分の買ったものが飾られていて喜んでいました。コロナ禍で、遊ぶ所が限られてしまっているので、もし参加できるイベントがあれば、積極的に参加したいと思っています。イベントのお知らせがもう少し分かりやすくなったら嬉しいです。
- コロナの中でも小規模で行って下さりありがたかったです。いつも活気があって明るくて… 住民からしたらとてもうれしいことです！
- 今年はコロナがあり大変だったと思いますが、コロナが落ち着いたら色々なイベントに参加したいと思います。
- とても頼りにしていて、見えない安心感があります。これからもよろしくお願いします。
- 今年はコロナの影響で、なかなかひばりテラスに足を運ぶことができませんでした。でも何度か利用させてもらった風葉花さん。すごく元気を貰えました。ひばりテラスがあって良かったなと思いました。
- 来年はひばリンピックを開催させましょう！
- いつもありがとうございます。まちにわスタッフの皆さんの頑張りがもっと地域の方々に伝わるようになればいいと思います。
- 新型コロナへの対応は、臨機応変に取り組まれていた印象で、キッチンカーなどは大変ありがたかった。情報の発信については、少し速度が鈍い印象があります。
- コロナが終息したら、テラスの前の緑の広場でフリーマーケットなどを開催して頂き、子供の使わなくなった三輪車やベビーカー、安全ゲートのような大物を若いファミリーでこれから必要な方へ譲り渡していけるようなイベントを作ってほしい（まわりにも結構そういっている人が多いので）
- みんなが集まってやれる場が少なくなっているので、zoom 等を利用した催しを企画して欲しい
- 活動が見える化されており、分かりやすい。
- 子供を巻き込むイベントがもっと多くても良いと思う
- あることで活気が出ていると感じ、ありがたいです。
- キッチンカーが在宅が多いコロナ禍にとても役に立った。もっとバリエーションを増やして欲しい。
- カフェ、フラワーショップ、イベント等、とてもセンスがいいと思います。
- ひばりテラスのイベントの情報はもれなく発信してほしい。花火遊びは参加したかったが知らなかった（終わってから知った）。例えばマンションの掲示板など誰でも見られるところにあるといいと思う。
- 一部の人の利用で開けた感じがしない

- 障害児者当事者や家族には、身体的なバリアだけでなく精神的なバリアもあり、健常者にはわからない感覚かと思います。ご配慮をお願いします。
- 若い世代向けの事業、活動ばかりなので興味が持てない
- 参加したくても都合がつかないことが多く、これからは参加できるように努めます。
- 事業や活動の経過を知らせて欲しい。
- 今は日常的に活動に参加したりはしていませんが、このような地域コミュニティがあることはとても良いことと思います。将来時間に余裕ができれば参加機会が増えるかもしれませんし、非常時などいざという時に身近に頼れる組織があるという安心感があります。この地域の子供達にもプラスになっている事は多いと思います。
- 高齢者対象のイベントの活動があると良いと思います。
- 大変よく活動して頂いていると思います。高齢者が参加しやすいイベントがあると参加しやすくなると思います。
- まちにわひばりが丘が元気だと、ひばりが丘のまちが明るく元気に暮らせると感じています。いろいろなことをここから発信して沢山の人たちを明るく輝かせてください。活動を楽しみにしています。
- 子ども達、赤ちゃん、お母さん…他の人たちの行事は多いようですが、老人のための行事を実施するのは大変でしょうが、老人のための行事もやってみてはいかがでしょうか。
- イベントでは楽器演奏、歌、マイクで話すなどされてますが、騒音と感じている住民もいるということを認識してほしいです。近所にもイベントに前向きではない人がいますし、同じように騒音に困っています。お年寄りや赤ちゃんがいる家庭など、いろいろな事情で静かに暮らしたいと思っている人もいます。お店を出すことはやむを得ないにしても、騒音を出すようなイベントは控えていただきたいです。このようなマイナスな意見を取り入れることも良い街づくりの一環かと思いますので、ご検討をお願いします。

3. 管理組合とまちにわの連携

みなさまがお住まいのマンションや住宅地の管理組合・団地管理組合は、まちにわの正会員となっており、防災委員会の立ち上げ支援や地域活動の企画運営等でまちにわと協力・連携しています。このことがどれくらい知られているか、また、管理組合とまちにわの連携についてどんな意見や感想があるか、調べてみました。

3-1. 連携への認識

これまでマンションや住宅地の管理組合・団地管理組合の理事を経験された方は全体の 1/4 で、開発時期の早い街区では 4 割前後になっています（図 3-1-1）。

図 3-1-2 は、管理組合とまちにわが防災や地域活動で協力・連携していることを知っているかを尋ねた結果です。理事を経験された方は、そのことに対する認知度がより高くなっています。

管理組合とまちにわの協力関係をどこで知ったかをまとめたのが図 3-1-3 です。「管理組合の理事になって」は「入居時の説明」「まちにわの活動報告書」「まちにわの情報媒体」に次ぐ 4 番目に見られました。

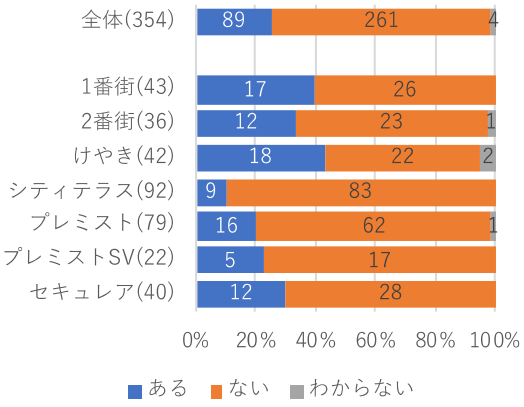

図 3-1-1. 管理組合の理事の経験

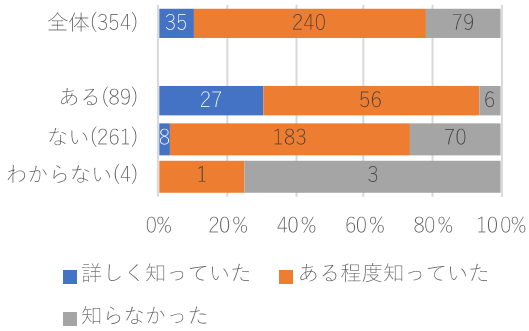

図 3-1-2. 理事の経験と協力・連携への認知

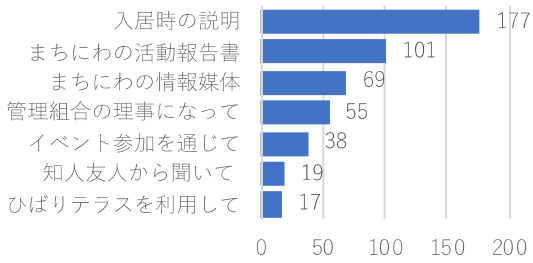

図 3-1-3. 連携をどこで知ったか（複数回答）

3-2. 連携への意見・感想

表 3-2-1 は、管理組合とまちにわの連携に対する自由回答です。（一部抜粋）

表 3-2-1. 管理組合とまちにわの連携に対する自由回答

- もっと協力的にイベントの手伝いや運営に関わる人達が増えるしくみがあると良いなと思う
- 理事会でも見たことないので何が連携できてるのかサッパリ…
- 団地管理組合内の連携がスムーズではなく、まちづくりへの関心が役員によって異なるため、まちにわとの連携に影響がでてしまっていることが課題と感じた。
- 私が理事役員のときには、理事の進行にいつもきめ細やかなご配慮をして下さりありがとうございました。
- お互い協力しあってさらに良いまちづくりができたらいいですね。常に関心をもっていきたいです。
- 非常に難しいと思いますがコツコツと地道にまちにわへの理解を深めてもらうしかないと思います。
- エリア全体で連携をとる為の橋渡しとなっていると思いますので、良いことだと感じています。
- お金の流れ等もう少し説明してほしい
- 各マンションの理事を集めた情報交換会のようなものを開催しても面白いと思う
- 活動内容がよくわからない
- 連携状況についてもっとお知らせが欲しい
- ボランティアで積極的に活動されておられる方々、誠にありがとうございます。
- 引き続きよろしくお願い申し上げます
- 情報共有ができていれば、好ましいと思います。
- 具体的な内容を知らせて欲しい。参加が出来ない。
- とても良い事なのですが、若い世帯、子育て世帯中心のテラスの感があります。講師を招くのではなく、マンション住民の中で得意とする方（例えば、①簡単な小物作り、②吊るしびなづくり、③オンラインでの受講は老人には不可です、等々）、ワンコインか 2 コインで出来れば楽しいと思いますが…
- よくわからないので、今後とも情報発信をよろしくお願いします
- 参加した事業で良かったのは、地震災害についての防災知識講座です。こうした実際に役に立つ内容のものを企画してほしいです。
- 何かで説明があったのでしょうが、私が聞いていないだけなのかもしれません。理事や事務局長が住民に移行されたとのことですが、決定した代表者の氏名・住所・年齢くらいは、われら一般の者も知っておきたいです。

4. テレワークの実施状況とワークスペースへのニーズ

新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い、テレワークへの需要が大きくなる一方、実施にあたっては課題も多く存在します。まちにわの企画・運営の参考にもできないかと、みなさまのテレワークの実施状況をお聞きしました。

4-1. テレワークの実施状況

テレワークをされている方は全体の 4 割近くで、コロナ前から続けている方も 1 割弱おられます（**図 4-1-1**）。

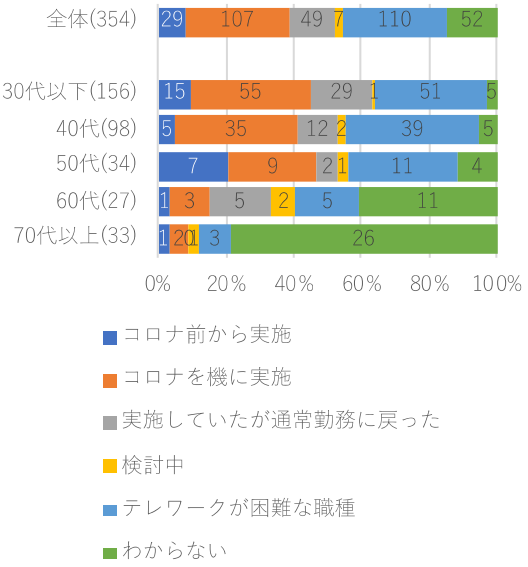

図 4-1-1. テレワークの実施状況

自宅外でテレワークに利用するサービスがあるか尋ねた結果が**図 4-1-2** です。シェアオフィスやコワーキングスペースといった「一時利用型の施設」、レンタルオフィスなどの「定期利用型の施設」を選択肢に設けましたが、実際に利用されている方は少ないようです。

家庭内では、「リビング」でのテレワークが最も多く見られました（**図 4-1-3**）。

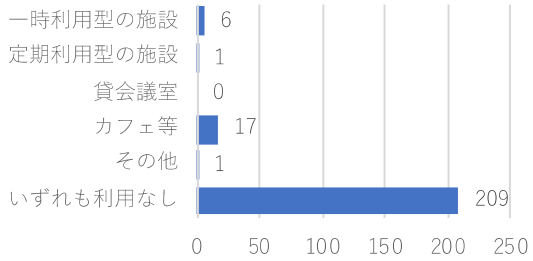

図 4-1-2. 自宅外のテレワークで利用するサービス

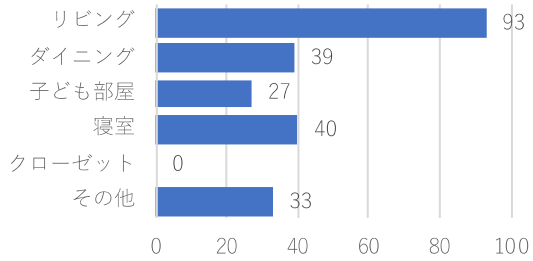

図 4-1-3. 自宅内でテレワークする場所

4-2. ワークスペースへのニーズ

図 4-2-1 は、近所にワークスペースを持つとしたら、どんな場所がいいかを聞いたものです。「自宅マンションの施設」（共用部分やテナント）と並び、「ひばりテラス 118」でテレワークをしてみたいと答える方も多く見られました。

近所のワークスペースを利用したい時間帯は、9 時から 18 時に集中しています（**図 4-2-2**）。

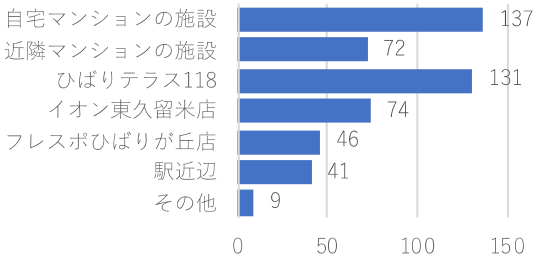

図 4-2-1. 近所に欲しいワークスペースの場所

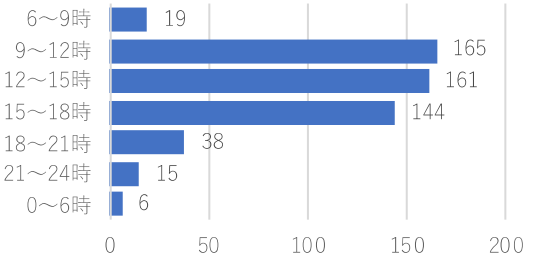

図 4-2-2. 近くのワークスペースを利用したい時間帯

図 4-2-2 は、近所のワークスペースに求める環境です。「1 人で集中して作業を行える」「防音設備があり電話や WEB 会議ができる」「個室などがありプライバシーが守られる」など、仕事環境の充実を求める声が主流ですが、「カフェや運動スペースなどリフレッシュができる」環境へのニーズも目立ちました。

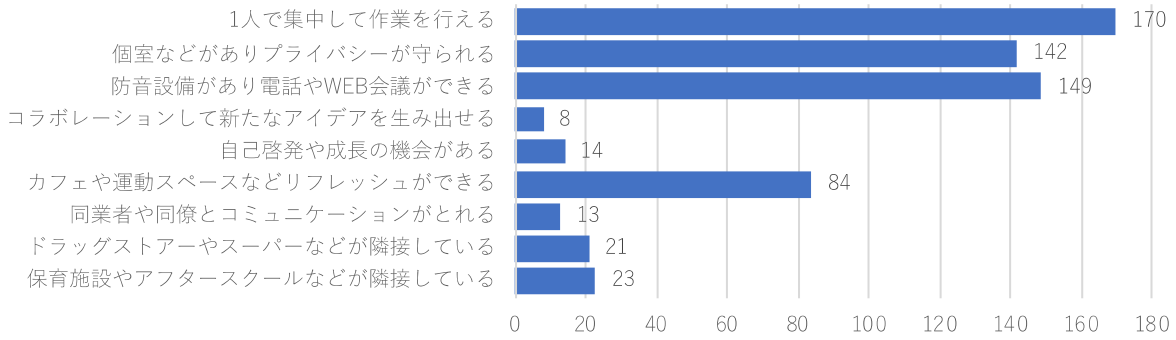

図 4-2-3. 近くのワークスペースに求める環境

5. ひばりが丘のまちづくりへの意見やアイデア

ひばりが丘のまちづくり全般について、地域のみなさまより、以下の意見やアイデアをいただきました（**表 5-1**）。（一部抜粋）

表 5-1. ひばりが丘のまちづくりへの意見やアイデア

- 今までも比較的交流の多いまちのイメージですが、より住みやすい明るいまちになっていってもらいたい
- 上の子が自治会のたんぽぽ幼児教室に通っています。どんな子（障害やグレーゾーンの子でも）どんな家庭でも話し合い、父母で考えながら受け入れている日々です。まちおこしのイベントで参加、ご協力できることがあれば、ぜひお声がけください。自然大好きで元気いっぱいの子供たちの姿とエネルギーが何か役に立てることもあると思うので。
- イベント参加など、長年住んでいる方の固定したメンバーが多いのか？と勝手にイメージしているため、最近引越してきた者からすると参加するには少し腰が重くなっている。上記を払拭するようなイベントがあると良いなと思う。子供がメインの花火大会？などは良いと思った
- 植栽管理に力をいれているが、街路樹（市管理）の根本に雑草が多く、放置されている。歩きタバコをする方がいるのでやめて欲しい、タバコの吸殻が捨てられていることがある。車道でスケボーをする人がいるので危ない。路駐が多い（やる気スイッチスクウェア前、まちにわ前、けやき公園を結ぶ東西道路)。住民による一斉清掃を定期的に開催したい
- 「まちにわ」がなかったら近隣住民の方々と仲良くなれてなかったと思います。マンション内や外を歩いていると、顔見知りに会えて気軽に声が掛けられるこの地域を気に入っております。新型コロナウイルスの影響により 2020 年はイベントが出来ませんでしたが、日常が戻ったらまた皆さんで集まって楽しく、地域活動が出来れば嬉しく思います。
- コロナの影響で今年は開催されませんでしたが、ハロウィンのイベントは継続して頂けると、子供達も楽しいかと思います。
- 活気があって良いと思います
- SDGs が広まってきているので、この地域でできることを行えたら素敵だと思います。世の中の状況もあると思いますが… 例えばキャンドルナイト、プラゴミ削減で量り売り、カフェの生ゴミをコンポスト利用して土作り、服の交換会（フリマ）など。環境のことを考えて、小さいことからプチエコ活動をしてみたら面白そうと思いました。他は焚き火体験、キャンプのテント立て講座。思いつきです。
- ひばりテラス前や団地エリア内の公園など芝生エリアでキャンプをしたいです。様々なマンションの方々と交流をもてる機会を増やせるとより嬉しいです！ まちにわひばりが丘の活動内容が素敵でますますこの街が好きになっています☆
- 引っ越しをしてきて 3 年目になりますが、本当に住みやすく安心して暮らせるところだと思います。いつも町のために全力を尽くして下さる方々に感謝の気持ちでいっぱいです。
- ひばりテラスに昔あったような駄菓子屋さんがあると、子ども達のコミュニティスペースになりやすいと思います。ご検討ください。
- 時間に余裕のあるシニア世代のパワーある方々をもっと引き込めるような方法がないでしょうか？
- 積極的に参加する方とそうでない方で二極化が広がると思いますので、にわマルシェやにわジャムなどの、参加にあたってハードルが低いイベントが定期的に開催されることは良いことだと感じています。
- 昔懐かしいラジオ体操（朝でなくても良い）勉強タイム（高校生が中・小学生を、大人・大学生が高・中・小を教える）いずれも zoom で
- 個での活動感はあるが、グループや連帯感などはあまり感じられない
- 毎月エリア費用としてお金をとられているので、何らかのサービスなどがあってもいいんじゃないか。今のままではとられ損な気がしている。活動は内輪受けみたいな雰囲気はないか。新たに参加した人たちが入りやすい空気なのか気になる。
- 路上駐車をなくしてほしい
- UR との連携強化を
- ゴミを道端に捨てさせないことと、トラック等の不法駐車をやめさせることです。電柱を全て地中化していただければ尚よしです。
- ようやく住まいの防災委員会に参加して、他のコミュニティとの関わりが始まったところなので、これを機会にまちづくりに貢献していきたいと考えております。
- 安全、安心のまちづくりを希望します。
- 今はコロナの影響で難しいと思いますが、イベントスペースでの習い事や単発イベント、セミナーなど興味に合うものがあれば、家に近いのは便利なので利用したいと思います。今後に期待しています。
- 高齢者（外部からこの町に来た）が気軽に参加できる企画が見当たらない。

6. まとめ

以上、このレポートでは、ひばりが丘のエリアマネジメントの現状・課題・可能性に関するアンケート調査の結果を見ました。以下は、そのまとめです。ご協力いただいたみなさま、誠にありがとうございました。

回答者の年齢は全体では 30 歳代が最も多く次いで 40 歳代が多くなっています。新しい街区ほど若い世代が多い傾向です。家族構成は「夫婦と未成年の子」が多く次いで「夫婦」となりますが、「一人暮らし」や「二世帯」も少数存在します。まちにわの正会員街区には、多様な家族構成が暮らしていると考えられます。

暮らしの中の関心ごとは、「子育て」が最も多く、次いで「趣味」「コロナ対策」「健康」「住環境」と続きます。「子育て」が最も多いのは 30 歳代 40 歳代の回答者が多い影響だと考えられます。また関心ごとのうち、「子育て」や「住環境」については、まわりと共有したい関心ごとのようです。子育て世帯以外では「趣味」「健康」「住環境」への関心も高いと考えられます。幅広い世帯のニーズを把握し、より多くの人に望まれるようなイベント開催や情報共有の場を提供できればと考えていきます。

地域にいる知人の数では、開発時期が早い街区ほど、また若い世代ほど多い傾向があり、入居後に知人が出来るきっかけは、「家が近所」「子供の学校等を通して」「マンション等のイベントを通して」が多いようです。

イベント等に参加したいかどうかでは、「参加したい」と回答した人が多いです。「企画したい」とした回答も少数ありました。より多くの人が参加しやすいイベントを企画計画することと併せて、企画に参画しやすい仕組みを検討していきます。

コロナ禍で最も困ったことの 3 位までの合計数では 1 位に「余暇の過ごし方」「買い物」「食事」でした。他に「子どもの居場所」「育児」「テレワークの場所」という回答も目立ちます。「余暇の過ごし方」「健康」「子供の居場所」「テレワークの場所」などは、まちにわとしても取り組むべきテーマと考えています。ひばりテラス 118 やオンラインを活用して課題解決の方法を探りたいと思います。

管理組合とまちにわとの連携や協力については、管理組合理事を経験した人ほど「詳しく知っていた」「ある程度しっていた」とする回答が多くなります。理事の経験があるのは全体では 1/4 で、開発時期の早い街区では 4 割前後です。また連携についてどこで知ったかでは、「入居時の説明」「まちにわの活動報告書」が多くなっています。管理組合理事の経験を通して、まちにわの活動や各管理組合との連携協力の状況を多く知ってもらえると考えられることから、管理組合との協力関係の強化、情報提供の機会増強に努めたいと考えます。

コロナ禍でテレワークを実施されているのは全体の 4 割近くでした。テレワークの場所としてはレンタルオフィスなどの施設利用をする人は少なく、ほとんどは自宅の自宅やリビングを利用していました。

まちづくり、繋がりづくりについては、今後も地域の皆さまのご意見を参考にしながら、そして皆さんにご協力頂きながら進めていければと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。